

令和 8 年度大阪府景観審議会

第 1 回公共事業アドバイス部会 会議要旨

開催日時：令和 8 年 7 月 9 日（木）10:30～11:30

出席委員：若本部会長、田中専門委員、船曳専門委員

【大阪府立寝屋川高校改築工事について】

○北水会館（同窓会の施設）と設備置き場、ゴミ置き場と入れ替える話があったが、それによる景観上の処理は考えているのか。

→北水会館と駐輪所の位置を入れ替える計画であり、ゴミ置き場と受水槽の位置は変わらない。正門側に駐輪場を寄せ、北水会館が通用門側に配置される予定。

○類似の会館がある高校は正門横に設けていることが多く、景観として好ましいのではないかと思った。また、駐輪場よりも綺麗な建物を見せる方がいいと思うが、駐輪場と入れ替えるのであれば、新しい校舎とのギャップが激しくならないように考えてもらいたい。

→北水会館については、校舎側から入りやすい配置の方が良いという教育庁からの意見があり変更した。

○資料には樹種のみ記載されているが、樹種の選定より、そうした樹種を上手く生かして風景を作ることが難しいと思っている。どのような点をポイントにおいてデザインしたのか、経験を蓄積してほしい。

→基本的には常緑を使用し、校庭内や正門前、地域側に対しては、落葉や桜の木など四季を感じられる木々も入れたいと考えている。細かな配置は見直しているところだが、地域景観だけでなく、校舎内における生徒の学びにも繋がるよう検討する。

○世の中には常緑だと葉っぱが落ちにくいという誤解があるが、定期的に掃除が必要になるデメリットもある。落葉樹だと葉が落ちるシーズンが限定される。

○今ある樹木を残してくれたんだと歩きながら思ってもらえ、町と繋がっているところを大事にしている点が、景観を意識されており評価できる。

○本案件は、昔ながらのまちなみを意識して進めてきたイメージがあり、前面に出していくことで、周囲も影響を受け景観に配慮して建て替えたり、新しい建物が建ったり、そのような影響を持っていると思う。自転車置き場が前面に出てくる点ももったいないと思う。

○サイン計画について、学校に行くまでの道でサインを統一することで、統一された地区が周囲に広がり、まちづくりに大きな影響を与える。1つの建物を作ることがこの仕事ではないため、そういったところを大事にしていきたい。

→寝屋川市、教育庁と相談しながら周辺環境への効果という点も引き続き検討する。

○駐輪場はとても気になり、目隠しが必要なところなので、卒業生の建物がある方が良いのではないかと思った。

○グラウンドと校舎の間にある駐車スペースについて、グラウンド側から車が直接見えてしまい、景観上良くない。また、グラウンドと教室を結ぶ学生の動線と交差するのではないか。

→駐車スペースは荷物の搬出入や来客対応など短い時間での利用が想定されており、施設管理面及び利便性の観点から事務室前に配置してほしいと学校側より要望があった。
→グラウンド側からの景観については緑を設けるなど引き続き検討する。

【大阪府営豊中新千里北第二期住宅民活プロジェクトについて】

○公営住宅の駐車場は景観デザインの対象になりにくく、夏はアスファルトが高温になるなど住環境への影響も無視できない。デザインの対象として十分検討してもらいたい。

○土地を分割し敷地の売却費用で建設費を捻出する際、分割される位置はデザインに決定的な影響を与える。今後の事業品質向上に向け、今回の分割が適切だったのか検証してほしい。

○分節の考え方と児童遊園が周囲に良い影響を与えそうで、こういった計画が見本になるのは大事なことだと思った。

○豊中市が街路樹を断ったのは、資料18ページに記載の舗装されている台形の箇所か。

→台形の箇所で豊中市が所有する道路の一部。緑化した方が良いのではないかという意見をいただき、協議をおこなったが、管理方法に課題があり緑化できなかった。

○児童遊園は民間に委託すると思うが、どの程度の確率で実現するのか。

→事業当初から民間事業者も一緒に提案しており、提案通りに実施することが大前提となる。のり面を利用した遊具を設けるなど、工夫しながら計画を進めている。